

## シード Eye coffret 1day UV

## 【警告】

●レンズは破損している・破損することがあります。万一、破損などの不具合があるレンズを装着してしまった場合やレンズが装着中に破損した場合は、直ちにレンズをはずし、自覚症状の有無にかかわらず、速やかに眼科医の診察を受けてください。

●コンタクトレンズは目にとって異物です。適切に使用していても以下のような眼障害をおこすことがあり、これらの眼障害を治療せずに放置すると重篤になったり、失明したりすることがあります。眼障害をおこさないようにするためにも必ず本添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い、正しい取扱方法を守ってください。

眼障害例)

- ・角膜潰瘍 ・角膜炎 (感染性角膜炎を含む) ・角膜浸潤
- ・角膜上皮びらんなどの角膜上皮障害 ・角膜浮腫
- ・結膜炎 (巨大乳頭結膜炎を含む) ・虹彩炎
- ・角膜血管新生などが発症する可能性
- ・角膜内皮細胞の減少を早める可能性
- ・角膜形状を変化させる可能性

## 【特にご注意いただきたいこと】

●コンタクトレンズご使用前には、必ず本添付文書をよく読み、表現や内容でわからないことがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してから使用してください。

●本添付文書は大切に保管してください。

## 1) 破損などがあるレンズは使用しないこと

装着前に、レンズに破損などがないか必ず確認し、破損などが認められたレンズは絶対に使用しないでください。

## 2) レンズの使用期間を守る

本レンズは1日で交換する (単回使用) 終日装着タイプのソフトコンタクトレンズです。眼科医の指示に従い、毎日新しいレンズと交換してください。また就寝時、昼寝、仮眠など眠る前には必ずレンズをはずし、一度ははずしたレンズは再装着しないでください。

## 3) 装着時間を正しく守ること

装着時間には個人差があります。眼科医から指示された時間内で使用し、眠る前には必ずはずしてください。

## 4) 取扱方法を守り正しく使用すること

レンズの取扱方法を誤ると眼障害につながります。レンズは常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

## 5) 定期検査は必ず受けること

自覚症状がなく調子よく装着していても目やレンズにキズがつくことや、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても3ヶ月ごとまたは眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

## 6) 少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の診察を受けること

レンズをつける前に、毎日、自分で目ヤニや充血がないか、またレンズをつけた後も、異物感などがないか確認し、少しでもこれらの異常を感じたら、直ちに眼科医の診察を受けてください。

きんき  
禁忌・禁止

## 1) 医学的禁忌

前眼部の急性および亜急性炎症 眼感染症 ぶどう膜炎 角膜知覚低下 レンズ装着に問題となる程度のドライアイおよび涙器疾患 眼瞼異常 レンズ装着に影響を与える程度のアレルギ－疾患 その他のレンズ装着に適さない疾患

## 2) 環境的禁忌

常時乾燥した生活環境にいる方  
粉塵・薬品などが目に入りやすい生活環境にいる方

## 3) 性格的禁忌

眼科医の指示に従うことができない方 レンズを適切に使用できない方 定期検査を受けられない方 レンズ装着に必要な衛生管理を行えない方 極度に神経質な方

## 4) 再使用の禁止

一度、目からははずしたレンズは再装着することはできません。

## 【形状・構造および原理など】

## &lt;原理&gt;

ソフトコンタクトレンズであり、屈折による光学原理により視力補正を行います。レンズに施された環状着色部分により虹彩または瞳孔の外観 (色、模様、形) を変えます。

## &lt;レンズ素材・保存液の主成分&gt;

ソフトコンタクトレンズ分類	グループ1
レンズ素材	2-HEMA、EGDMA
着色剤	アゾ系着色剤、イソインドリン系着色剤、ジオキサジン系着色剤、炭素系着色剤、金属酸化物系着色剤
紫外線吸収剤	ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤
レンズカラー (環状着色部分)	ライトブラウン、ブラック、ブラウン
保存液主成分	塩化ナトリウム、リン酸系緩衝剤

## 【使用目的、効能または効果】

視力補正、および虹彩または瞳孔の外観 (色、模様、形) を変える (単回使用)

## &lt;操作方法または使用方法など&gt;

## &lt;レンズを取り扱う際のご注意&gt;

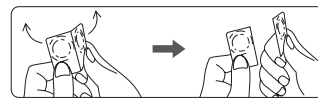
- (1) 目やレンズにキズをつけないために爪を短く切り、先をなめらかにしてください。
- (2) 手指は石けんできれいに洗い、水道水でよくすすいでください。手洗いが不十分だとレンズが汚染される原因となります。
- (3) レンズを取り扱うときは、明るい、清潔な場所で行ってください。
- (4) レンズを取り扱い方によっては、破損する場合があります。

## &lt;レンズと包装容器の確認&gt;

- (1) 右用レンズ、左用レンズを確認してください。
- (2) 開封前にレンズと包装容器に異常がないか確認してください。破損や液もれなど、異常があった場合には開封せずに、購入先または弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。

## &lt;レンズの取り出し方&gt;

- (1) 包装容器は、図のように、山折りにして切り離してください。
- (2) 包装容器とラベルをしっかり持ち、ラベルをはがします。このとき、容器やラベルで手を切らないように注意してください。



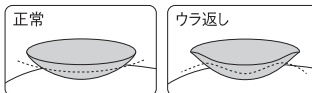
また、はがしたときに中の保存液が飛び出すことがありますので、注意してください。  
(3) 人さし指の腹にレンズを吸いつけるようにして、レンズを包装容器から取り出します。もしくは、包装容器をひっくり返し、保存液ごとレンズを手のひらに取り出してください。取り出すときに、レンズに爪を立てたり、包装容器のフチにレンズをこすりつけたりすると、レンズが破損する場合がありますので注意してください。



## &lt;レンズの確認&gt;

- (1) レンズのはじを横からつまみ、上下に軽くふり水分を切ります。
- (2) きき手の人さし指の上にレンズをのせ、レンズの表裏を確認してください。

※レンズには表裏があり、歪みのない状態が正常です。



- (3) 変形・変色、異物の付着、破損、キズ、汚れなどの異常がないか確認してください。異常があるレンズは装着しないでください。

## &lt;レンズのつけ方&gt;

- (1) レンズを人さし指にのせ、同じ手の中指で下まぶたを引き下げ、もう一方の手の人さし指で上まぶたを引き上げます。指をまつげのはえぎわにあてると、目を大きく開けることができます。
- (2) 角膜が目中央にくるように鏡に顔を向けます。レンズをゆっくりと目に近づけ、鏡を見ながら、そっとのせます。このとき、上まぶたが下がると正しく角膜にレンズがのりません。
- (3) レンズを正しく角膜にのせたら人さし指をゆっくり離し、押さえていた指を下まぶた、上まぶたの順に離します。指を急に離したり、強く目を閉じるとレンズがずれたり、はずれたりすることがあります。
- (4) レンズが角膜の上のっているかどうかを鏡で確認し、また反対の目を手でおおい左右の見え方も確認します。
- (5) もう一方の目にも同じ方法でレンズを装着します。

## &lt;レンズのはずし方&gt;

- (1) 鏡を見てレンズの位置を確かめます。
- (2) 顔は正面を向いたまま、鏡を上方に持ち、鏡にうつる目を見ます。
- (3) 中指で下まぶたを軽く引き下げ、同じ手の人さし指でレンズを角膜より下方にずらします。
- (4) そのままの状態で、親指と人さし指の腹を使い、レンズの下の方を軽くつまんではずします。

※目にキズをつけないために、指先や爪が直接目にふれないようご注意ください。  
※はずれなかったときは、数回まばたきをするか、人工涙液を点眼してから、もう一度行ってください。

## <装用サイクルと装用スケジュール>

このレンズは1日で交換する（単回使用）終日装用タイプのソフトコンタクトレンズです。おきているときに使用して、眠る前にははずしてください。一度、目からははずしたレンズは捨ててください。

装用スケジュールには個人差がありますので、眼科医の指示に従って徐々に慣れるようにしてください。以下はスケジュールの一例です。

1日目：6時間 → 2日目：8時間 → 3日目：10時間 →  
4～6日目：12時間 → 終日装用：12～14時間

※終日装用は1日12～14時間以内が目安です。

※眠る前には必ずレンズをはずしてください。

—装用を一時中断した場合—

以下を目安に再度徐々に慣れるようにしてください。

### 中断期間

1週間未満：今までより2～4時間短縮

1週間以上1ヶ月未満：6～8時間

1ヶ月以上：診察後6～8時間

※1ヶ月以上装用を中断した場合は、必ず眼科医の診察を受けてから装用を開始してください。

## <定期検査および定期検査スケジュール>

調子よく装用していても目に障害をおこしていることがあります。コンタクトレンズを安全かつ快適に装用していただくために、3ヶ月ごとまたは眼科医の指示に従って定期検査を必ず受けてください。

## 【使用上の注意】

### <使用上の注意>

- (1) レンズは開封後速やかに装用してください。レンズが汚染される可能性があります。
- (2) 装用中に目をこすらないようにしてください。目にキズをつけたり、レンズがずれたりする場合があります。
- (3) レンズの左右を間違えないようにしてください。視力不良や異物感の原因になります。
- (4) 環状着色部分には金属系の着色剤を使用しています。MRI 検査や目の周辺にレーザー照射を受ける場合には、レンズをはずしてください。はずさない場合には眼障害などをおこすことがあります。
- (5) 目の状態などによりコンタクトレンズが装用できない場合や、眼科医から指示された装用時間を経過した後には使用する適正な眼鏡を用意してください。無理なコンタクトレンズの装用は眼障害などをおこす原因となります。
- (6) レンズの環状着色部分により、視野周辺部の見え方に違和感を覚える場合や明るさの変化による見え方が変わる場合があります。徐々に慣れて軽減されますが、症状が強くなる、長引くなどする場合には、眼科医に相談してください。
- (7) レンズに慣れるまでは、車の運転や機械類の操作は行わないようにしてください。また慣れてからも、車の運転や機械類の操作中にレンズがずれたり、はずれたりした場合には、速やかに周囲の安全に注意して運転や操作を中止するようにしてください。
- (8) 暗い場所や夜間では見えにくいことがあります。また慣れてからも明るさや明るさの変化によって見え方が変わる場合があります。夜間や明るさの変わる場所での車の運転や機械類の操作には特に注意してください。
- (9) 装用中に目薬を使用する場合は、眼科医の指示に従ってください。
- (10) レンズに化粧品・薬品などをつけないでください。化粧品（アイライナー、クレンジング剤など）が涙を介してレンズに付着し、変色・変質などで使用できなくなる場合があります。
- (11) 目に強い風が当たる場合（オートバイや自転車に乗るとき、スキーのとき、風が強いときなど）には、サングラスやゴーグルなど風よけになるものを使用するようにしてください。強い乾燥感がおきる場合や、レンズを紛失する場合があります。
- (12) 水泳をする場合は、レンズをはずすようにしてください。眼障害などをおこす場合や、レンズを紛失する場合があります。
- (13) 旅行などお出かけの際には、紛失や破損に備えて、スペアレンズや眼鏡を常に携帯するようにしてください。
- (14) 家庭用洗剤のような溶剤が目に入った場合には、直ちにレンズをはずし、水道水で目を洗い、眼科医の診察を受けてください。この場合、自己判断で目薬などを点眼しないでください。
- (15) 自分のレンズ以外には装用しないでください。また他の人にレンズを渡さないでください。誤使用や眼障害などをおこす原因となります。
- (16) 他のレンズと重ねて装用しないでください。眼障害などをおこす原因となります。
- (17) レンズは室温で保管し、凍らせたりしないでください。

## <子供、高齢者、妊産婦、アレルギー疾患のある方などの場合>

- (1) 子供が使用する場合には、眼科医の指示に従い、保護者の監視のもとで使用してください。
- (2) 高齢者や自分での装着脱が困難な方の場合には、眼科医に相談し、適切な指導を受けてください。
- (3) 妊娠中や出産後はコンタクトレンズがあわなくなる場合や一時的に視力が低下する場合があります。必要に応じて適切な指導を受けてください。
- (4) アレルギー疾患のある方は、他の使用者よりも目や皮膚の疾患がおこりやすい場合や有害事象の発生が高くなる場合があります。必要に応じて適切な指導を受けてください。
- (5) 「禁忌」に該当しなくても、病氣、薬剤の服用ならびに体調や目の状態あるいは生活環境の変化によってはコンタクトレンズの装用に影響を及ぼす場合があります。また、装用直後にコンタクトレンズの装用状態が変化する場合があります。必要に応じて適切な指導を受けてください。

## <装用に伴う症状と対処方法>

(1) 慣れるまで

レンズに慣れるまでは、以下のような症状が見られることがあります。個人差もありますが、レンズに慣れるにしたがって徐々に軽減していきます。しかし、症状を強く感じるときや、長く続くときにはレンズの装用を中止し、速やかに眼科医の診察を受けてください。

●軽い異物感 ●軽い充血 ●視力不安定 ●涙が多く出る ●目のかゆみ

●視野周辺部の違和感

(2) 慣れてから

レンズに慣れてからも以下のような症状が見られることがあります。このような症状が、それぞれの対処方法で改善されない場合や、他の症状が見られる場合は、レンズの装用を中止し、速やかに眼科医の診察を受けてください。

症状	考えられる主な原因	対処方法
痛み 異物感 しみる	レンズを裏返しに装用 レンズの汚れ、異物の付着 レンズの乾燥 レンズのキズ、破損 眼疾患	・新しいレンズに交換する。 ・症状が改善されない場合は、レンズの装用を中止し、眼科医の診察を受ける。
くもり 見えにくい	レンズの左右の入れ違い レンズの乾燥 環境の明るさ/明るさの変化 レンズの汚れ 視力低下 眼疾患	・レンズの左右を確認する。 ・新しいレンズに交換する。 ・症状が改善されない場合は、レンズの装用を中止し、眼科医の診察を受ける。 ・急激に視力が低下したときは、速やかに眼科医の診察を受ける。
乾燥感	レンズの乾燥、汚れ 乾燥した環境での装用 (風が当たる、冷暖房など) ディスプレイなどの注視 涙液が少ない	・新しいレンズに交換する。 ・意識的にまばたきの回数を増やす。 ・環境を改善する。 ・症状が改善されない場合は、レンズの装用を中止し、眼科医の診察を受ける。
目の疲れ 充血	装用時間が長い 長時間の近方視 体調不良 過矯正 (レンズの度数が不適切) 眼疾患	・装用時間を短縮する。 ・体調を整えてから使用する。 ・症状が改善されない場合は、レンズの装用を中止し、眼科医の診察を受ける。
かゆみ	レンズの汚れ 眼疾患	・新しいレンズに交換する。 ・症状が改善されない場合は、レンズの装用を中止し、眼科医の診察を受ける。
レンズが ずれやすい	レンズを裏返しに装用 レンズ面の乾燥、汚れ フィッティング不良	・新しいレンズに交換する。 ・意識的にまばたきの回数を増やす。 ・症状が改善されない場合は、レンズの装用を中止し、眼科医の診察を受ける。
目ヤニが 多くでる	眼疾患	レンズの装用を中止し、眼科医の診察を受ける。

## (3) 不具合・有害事象

以下の不具合が発生する場合があります。不具合が認められたレンズは絶対に使用しないでください。また、有害事象の発生により、眼科医から治療、レンズの使用休止や中止などの指示をされる場合があります。なお、不具合や有害事象はこれらに限定されるものではありません。

### 不具合例)

- ・レンズの破損、キズ、変形、変色、汚れ、付着物、折れ曲り ・保存液の変色、変質
- ・包装容器の破損、液漏れ、汚れ ・包装容器内のレンズ過不足

### 有害事象例)

- ・角膜潰瘍 ・角膜膿瘍 ・角膜穿孔 ・角膜浸潤 ・角膜びらんなどの角膜上皮障害
- ・角膜浮腫 ・角膜血管新生 ・角膜炎 (感染性角膜炎を含む) ・結膜炎
- ・角膜上皮ステイニング (点状表層角膜症を含む) ・結膜炎 (巨大乳頭結膜炎を含む)
- ・アレルギー性結膜炎 ・結膜下出血 ・虹彩炎 ・麦粒腫 ・マイボーム腺炎 ・霰粒腫
- ・調節性眼精疲労 ・ドライアイ ・角膜内皮細胞の減少

## 【貯蔵・保管方法および使用期間など】

<保管方法> 室温保管。直射日光は避けてください。

<使用期限> ラベルおよび外箱に記載。使用期限までに開封して使用してください。

例) “EXP.2018.2” は “使用期限2018年2月” まで

“EXP.2018.2” は “使用期限2018年2月” まで

<使用期間> 1日 (単回使用) …再使用禁止

## 【包装】

販売用：1箱30枚入、10枚入

試用用：1箱10枚入

※包装に記載されている表示について

P	頂点屈折力 (レンズ度数)	再使用禁止	一度、目からははずしたレンズは再装用できません
BC	ベースカーブ	STERILE	高圧蒸気滅菌済
DIA	直径	高度	高度管理医療機器
LOT	製造番号	紙	容器包装識別表示：紙
EXP. / 使用期限		プラ	容器包装識別表示：プラスチック

## 【製造販売業者および製造業者の名称および住所】

<製造販売業者> 株式会社シード

東京都文京区本郷2-40-2 TEL: 03-3813-1111 (代)

<製造業者>

St.Shine Optical Co.,Ltd. (台湾)

## 【お問い合わせ先】

<症状に関するお問い合わせ>

コンタクトレンズの装用に伴う目の症状については、処方を受けた眼科医にご相談ください。

<製品に関するお問い合わせ>

レンズの品質には万全を期しておりますが、万一レンズや包装容器に異常を発見した場合には使用せず、眼科医、購入先に相談してください。もしくは、下記の弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。

シードお客様相談室 <b>ひとみコール</b>	
ミナヒトミ 受付時間 <b>0120-317103</b> 9:00~17:00 (土日・祝日を除く)	
シードホームページ	<a href="http://www.seed.co.jp">http://www.seed.co.jp</a>